

山崎 岩原市兵衛

口文書宛封書

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

山崎 岩原市兵衛

而國乃神保信者之史其力人食之味人

刑部之殿事

刑部之殿事

四角之屋身之し其方中隔在月楨之 経力是乃
之し其側之し信者而乃人而他人者一持乃
之し其乃

八ノ一ノ七

海防使等
十ノ一ノ七

海防使等
小菅 徳右衛門
七ノ一ノ七

海防使等

八ノ一ノ七

死

海防使等

中

海防使等

海防使等

海防使等

去歲
出舟已獨心

松多却抄也
云云云云

死兒

去遠

切律

力之通於符定之而一按之而為一別也

高日殺

山民社稷

松手舟及古
山民社稷

村息

竹牛馬

水戶殿

茅地信德

點沈作史

九皇

水戶殿

安吻

世布刀